

宮古市環境基本計画（令和7年度～令和12年度）案に対する パブリック・コメントの実施結果について

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| 1 実施期間 | 令和6年12月16日から令和7年1月14日まで |
| 2 意見提出方法 | 投函、郵送、ファクス、電子メール、LoGo フォーム |
| 3 提出状況 | 電子メール 1組 35件 |
| 4 意見概要と回答 | 以下のとおり
※ご意見は、趣旨を損なわない程度に要約しました。 |

■主なご意見に対する回答

NO.	ページ	該当箇所	意見等の概要	意見等に対する回答
1	—	全体	●本計画では宮古市の自然環境についての現状認識や取り組みが弱い。また、他計画との連携を進め、環境関連事項を網羅する計画にする必要がある。	●環境基本計画は市の環境に係る基本的な施策の方針を示す計画であり、個別のデータを全て掲載することは難しいため、代表的なものの掲載にとどめています。 取り組みにあたっては、引き続き各分野の具体的なビジョン・計画等との連携を進めてまいります。
2	—	表紙	●年表示を本文にあわせて、西暦を加えてほしい。	●ご意見のとおり修正します。
3	P1	第1章 1. 計画策定の目的 (1)目的	●気象災害の激甚化・頻発化が目に見える形で進んでいる中、とある部分では、宮古市における実例を示すべき。特に主要産業の水産業が深刻な状態であることは明記すべき。	●ご意見を参考に修正します。
4	P5	2. 計画策定の背景 (1)世界的な動向	●世界的な動向として、生物多様性条約、その中でも2030年までに陸と海の30%以上を保全する目標(30by30)なども記述する必要があるのでは。	●生物多様性について追記します。

NO.	ページ	該当箇所	意見等の概要	意見等に対する回答
5	P6	2. 計画策定の背景 (4)本市のこれまでの取り組み	●2008年策定以降の主な取り組みと成果を示してほしい。20年以降のエネルギー関係以外の取り組みに触れていないために、それ以外の取り組みは無かったと受け止められるが、それでいいのだろうか。	●様々な分野において、市の業務として取り組みを継続していますが、ここでは現計画（R2年度～R6年度）策定以降の本市の特徴的な取り組みとして、特に力を入れている脱炭素・再生可能エネルギーへの取り組みを記載しています。
6	P12-29	第3章	●自然環境、気候変動、ゴミ、生活環境の現状を述べた後に、それぞれの課題を続けて記載すべき。	●現況と課題の区分を明確にするため、分けて記載しています。
7	P12-13	第3章 1. 自然環境	●特定植物群落と絶滅の危機に瀕している動物しか記載されていないが、データが少なすぎるのでは。 森、川、海に生息する動植物の状況や、藻場や海草場なども情報として必要ではないか。また、温暖化による動植物の分布の変化も懸念されており、これらの情報収集も実施してほしい。	●環境基本計画は市の環境に係る基本的な施策の方針を示す計画であり、個別のデータを全て掲載することは難しいため、代表的なものの掲載にとどめています。 本市に生息する動植物の詳細な情報の収集については、専門機関や研究者の協力が不可欠であり、今後の課題と認識しています。ご意見は今後の取り組みの参考とさせていただきます。
8	P14	2. 地球温暖化 (1)気候変動	●海洋熱波が宮古市の海洋生態系に大きな影響を与えていることは、可能性のレベルではなく事実であることを示すべき。	●ご意見を参考に修正します。
9	P14	(1)気候変動	●夏の酷暑について、市民が実感できるように具体的に示してほしい。	●ご意見を参考に追加します。
10	P15	(1)気候変動	●海洋生態系の劣化は「予測されている」レベルではなく、現実に「観察されている」と記すべき。また、「海洋生態系の損失」は適切な用語ではなく、「海洋生態系の変化や消失」「海洋生態系のもたらす生態系サービスの消失や低下」となるはず。	●ご意見を参考に修正します。

NO.	ページ	該当箇所	意見等の概要	意見等に対する回答
			サケ、サンマの漁獲量以外に、本市の重要種であるエゾアワビ、藻場の消失についても示す必要がある。	
11	P16	(2) 温室効果ガス排出量と削減目標	●本計画では、温室効果ガス（GHG）にCO2以外を含めているのかどうかを示す必要があるのではないか。	●全ての温室効果ガスを対象としている旨を追記します。
12	P17	(2) 温室効果ガス排出量と削減目標 図 3-5	●森林吸収量について、根拠となる元データと計算方法を示していただきたい。	●森林吸収量は、「エネルギー・資源学会論文誌 Vol. 42, No. 3, p. p. 158-165（2021年）」を引用しています。 当該論文では、国の森林吸収量を別の論文を参考に都道府県別に按分し、さらに2015年農林業センサスの市町村別森林面積を用いて市町村別に按分して推計しています。これには森林管理状況や樹種による市町村の吸収量の差は反映されていません。
13	P18	(3) 再生可能エネルギーの導入	●再エネ導入ポテンシャルについて、説明を本文に加筆すべき。併せてこれらの開発により懸念される自然環境、生態系などについても記載すること。	●再エネ導入ポテンシャルは現況を示すため環境省のデータを引用したものであり、市がポテンシャルの多い再エネを推進するという意味ではありません。わかりやすくなるよう修正します。
14	P20-21	3. ごみ（一般廃棄物） (1) 排出量 (2) リサイクル率	●本市の1人当たりのごみ排出量が県平均より多くなっている要因を分析し、加筆できないか。	●1人1日あたりのごみ排出量が県平均を上回る状況は長年の課題であり、分析を続けてきましたが明確な要因は分かっていません。これまでは生ごみの割合が多かったことから、ひと絞り運動等の普及啓発を継続してきました。依然として県平均を上回っていますが、排出量は毎年減少してきています。

NO.	ページ	該当箇所	意見等の概要	意見等に対する回答
			<p>●37 ページで目標値を挙げているが1人当たりの排出量がなぜ東日本大震災以降増加したのか、リサイクル率がなぜ県平均より低いかなど、本市の課題を分析したうえで、有効な対策を立案し目標達成へとつなげていただきたい。</p>	<p>●東日本大震災以降、復興工事等に伴う事業系一般廃棄物が増加したことにより、1人当たりのごみ排出量も増加しました。復興工事がほぼ完了し、事業系ごみの排出量は令和元年度から減少に転じています。</p> <p>リサイクル率が県平均より低い状況については、明確な要因は分かっていませんが、市民一人一人が「ごみを出さない、増やさない」生活を心がけることが何より大切と考えます。引き続き4Rの推進に取り組めます。</p>
15	P21	(2) リサイクル率	<p>●リサイクル率の説明を具体的に記載してほしい。表3-3にある資源物の他に何がリサイクルされているかを示してほしい。</p>	<p>●品目ごとのリサイクル量の表を追加します。</p>
16	P22-24	4. 生活環境 (1) 大気環境 (2) 水質環境	<p>●「(1) 大気環境」、「(2) 水質環境」とあるが、「大気」、「水質」か、「大気汚染」、「水質汚濁」の方が適切である。</p>	<p>●「(1) 大気」、「(2) 水質」に修正します。</p>
17	P22	(1) 大気環境	<p>●大気中の汚染物質を測定した3地点について、それらの特徴と選択した理由を示してほしい。</p>	<p>●市中心部や工業地域に近い住宅地などの、代表的な地点を選定しています。</p>

NO.	ページ	該当箇所	意見等の概要	意見等に対する回答
18	P24	(2)水質環境	<ul style="list-style-type: none"> ●水質の項目では、市民の関心が高い有機フッ素化合物についても記述すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●有機フッ素化合物（PFAS）の測定値については今後、宮古市公害対策測定報告書に項目を設けます。
19	P24	(2)水質環境	<ul style="list-style-type: none"> ●BOD 以外の項目について記載がないが、環境基準を達成していないのではないかと疑いを生むので、概要を記載すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●BOD 以外の測定項目については、公害対策測定報告書に記載しています。ここでは代表的な指標として BOD を記載しています。
20	P25	(2)水質環境	<ul style="list-style-type: none"> ●COD 以外の項目について記載がないが、環境基準を達成していないのではないかと疑いを生むので、記載すべき。 ●『海域における水質汚濁の代表的指数である COD は、』 COD では全ての水質汚濁（油分や発がん物質等）を測定できないので、この表現は不適切ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●COD 以外の測定項目については、公害対策測定報告書に記載しています。 ●全ての水質汚濁を COD が表しているという意味ではなく、COD は有機物による水質汚濁の指標として代表的なものです。
21	P26	(3)その他の環境リスク	<ul style="list-style-type: none"> ●（3）その他の環境リスク、とあるがここでは騒音だけなので、（3）騒音、とすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ご意見のとおり修正します。
22	P26	(3)その他の環境リスク 表 3-14	<ul style="list-style-type: none"> ●この表では、各地点の類型を示す表と、4 類型のそれぞれを説明する表に分け、読みやすくすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ご意見を参考に修正します。

NO.	ページ	該当箇所	意見等の概要	意見等に対する回答
23	P27	(3) その他の環境リスク	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車騒音について、「地域の年間を通じた平均的な状況」を調べたとあるが、調査方法を記載し妥当性を示すべき。 ●また、環境基準を達成したと記載するなら、そのデータも示すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車騒音の常時監視については、環境省が示したマニュアルを用いて全国の自治体を実施しています。環境省HPでマニュアルと年度ごとの結果が公表されています。 ●宮古市の測定結果の詳細は公害対策測定報告書で毎年公表しています。
24	P28-29	5. 課題の整理 (1)環境課題 (2) 基盤的課題	<ul style="list-style-type: none"> ●課題は各項目毎に記すべき。28 ページで課題が提起されるのは唐突であり、現状を踏まえているのかという疑問がある。 ●温暖化の影響は今後、進行とともに悪化すると予想されるため、「今後も懸念される」というように現状が維持されるかのような表現は適切ではない。 ●良好な環境を維持するためには、環境をモニタリングすることが重要であるため、その旨を記述すべき。 ●ここでは、それまでに述べた4つの課題に取り組むための人的・組織的基盤を形成するために、2つの課題を設定した、とすれば良いのではないか。 「環境課題」という語を用いているが、すべての課題は環境に関連しており、「環境課題」が何を指すのか曖昧で不適切。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現況と課題の区分を明確にするため、分けて記載しています。現況から導き出した課題であることを追記します。 ●ご意見を参考に修正します。 ●ご意見のとおり修正します。 ●ご意見を参考に修正します。

NO.	ページ	該当箇所	意見等の概要	意見等に対する回答
25	P31-32	第4章 2. 基本方針 第5章 1. 施策体系	<p>●29ページの課題を「基本方針」と呼び変えていて分かりにくい。ここでは、29ページに掲げた課題の解決を通じて、本計画の掲げる将来像を達成することを示せば、十分であると思われる。</p>	<p>●28-29ページで整理した課題から、31ページの基本方針を導き出し、各方針に沿った施策を展開しているものです。</p>
26	P33	2. 重点施策	<p>●重点施策とそれ以外の施策で、扱いがどのように異なるのか。 ●「温室効果ガスの削減」と「ごみの減量化と資源化」の2つを重点施策として選択した理由を説明して頂きたい。</p>	<p>●重点施策は特に喫緊の課題として、重点的に取り組みを行うものです。 ●重点施策の選定理由は以下のとおりです。 【温室効果ガスの削減】地球規模の課題である温暖化は環境にもたらす影響が大きく、これを抑制することが、本市の掲げる環境の将来像「恵み豊かな自然の維持」を実現するうえで欠かせないため。 【ごみの減量化と資源化】環境の将来像「循環を基調とした持続可能な社会の形成」に向け、国の計画でも重要視されている「循環経済（サーキュラーエコノミー）」への移行を推進する必要があるため。</p>
27	P34-35	3. 基本施策と 具体施策 (1) 自然環境 の保全	<p>●藻場や海草場、森林、草地等の分布や種類、希少かつ環境変化に脆弱な生息地、生物・生態系などの現状を把握するための調査はできているのか。できていないならば課題として取り上げ、今後の整備を計画すべき。 自然環境の保全のためにどのような調査が必要なのか、取りまとめる必要がある。今すぐ調査を開始できなくても、市として把握する必要のある生物種や生息地、既存の資料の有無などを整理し、これらのデータベース作成も施策に加えると良いと思う。</p>	<p>●環境基本計画は市の環境に係る基本的な施策の方針を示す計画であり、各分野のビジョン・計画等により取り組みます。 生物・生態系については、宮古市自然環境保全専門委員による現地調査を毎年行っています。また、市の天然記念物であるチョウセンアカシジミの産卵数調査を継続して実施し、調査結果を元に環境整備を実施しています。 施策に関するご意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>

NO.	ページ	該当箇所	意見等の概要	意見等に対する回答
28	P36-37	(2) 地球温暖化対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体施策 「省エネルギーの推進」では、断熱性の優れた住宅への補助制度の施策も加えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「省エネルギー化の推進」には、各種補助制度を含みます。詳細は市 HP（補助金はじめてガイド）をご参照ください。 【URL】 https://www.city.miyako.iwate.jp/gyosei/soshiki/kankyo/1/1/1502.html
29	P39	(3) 循環型社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> ● 4 R の各項目について、具体的な取り組みをいくつか記してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご意見を参考に追記します。
30	P40	(4) 生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 騒音について、ある地点で 1 時期であっても許容し難い騒音が発生している場合は課題として記載し、対応を記載すべき。 ● 「親水空間の環境整備」とあるが「親水空間の環境」とは何を指すのか分からないため、「親水空間の整備」とすべきでは。また、どのような機能を満たせば親水空間と言えるのか、各施設がその機能を満たしているか説明してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 騒音については令和元年度の夜間に 1 地点で若干の基準超過がありましたが、それ以外は基準超過はなく、近年は市民からの苦情も寄せられていません。詳細は公害対策測定報告書に記載しています。 ● 「環境整備」とは、本計画では草刈りなどの維持管理やごみ拾いなどの環境美化活動などを指します。 ● 「親水空間」とは、川辺や海水浴場などの、水と触れ合うことができる空間を指します。用語解説を追記します。
31	P41	(4) 生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境管理指標値 指標の列、ア、イ、ウの「環境測定値」は削除したほうが良いのではないかと。また、ア、イ、ウの目標値の考え方が表脚注と表内のセルにも記入されており煩雑で見にくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご意見を参考に修正します。

NO.	ページ	該当箇所	意見等の概要	意見等に対する回答
32	P43	(5) 環境意識の向上	<p>●情報の発信や学習機会の集中取組期間を設けるなど、現状を上回る施策が必要と考える。また、効果的な情報・施策づくりのために、宮古市独自の研究活動も必要と考えられる。</p> <p>●具体的施策 管理指標の設定が自然観察会参加者数だけでは不十分だと思う。市役所単独の取組みだけでなく、関係機関や民間団体の概要報告をとりまとめて、宮古市環境活動一覧ブックのようなものを作成したらどうか。</p>	<p>●今後の取組みの参考とさせていただきます。</p> <p>●管理指標は「自然観察会等参加者数」としており、自然観察会のほか、水生生物調査や宮古市ジオパーク協議会、浄土ヶ浜ビジターセンター等のイベント参加者数を含むものです。施策に対するご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
33	P45	(6) 環境施策を推進する体制と人材の確保	<p>●体制と人材の確保における課題 幅広い分野の人材や団体との連携が求められている、とあるが、実際の取組みがあるなら加筆して頂きたい。</p>	<p>●第3章に現況を追記します。</p>
34	P46	(6) 環境施策を推進する体制と人材の確保	<p>●脚注は当該ページに表示されるように編集してほしい。</p>	<p>●ご意見のとおり修正します。</p>
35	P48	第6章 2. 進行管理	<p>●2008年に計画が策定されてから、どのような取組みや成果があったのかを示してほしい。</p>	<p>●ここでは本計画の進行管理について説明しています。新たな計画を策定する際には、前計画の評価を踏まえ、施策と指標を設定しています。 本計画においては、第1章の中で現計画策定以降の主要な取組みを記載しています。</p>